

羽田空港のこれから

ニュースレター
地域特別号
2021年立春

このニュースレターは、羽田空港の現在の飛行経路に関する影響軽減及び国土交通省が提案する国際線増便のための取り組みについて、地域の皆様とのコミュニケーションの状況を広くお知らせするために定期的に発行しています。

2020年3月29日より羽田空港において新飛行経路の運用が開始され、千葉県内の騒音軽減が図られています。

羽田空港に離着陸する航空機は、2020年3月29日より、一定の時間帯において新たな飛行経路にて運航が開始されました。

新飛行経路を運用することにより、下記のとおり千葉県内の騒音軽減が図られています。

北風運用時の騒音軽減

7時～11時半、15時～19時のうち3時間程度において、離陸機が荒川の上空を利用して上昇しています。(右図A)

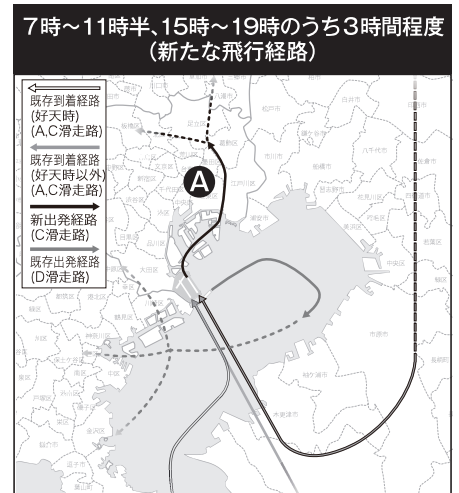
南風運用時の騒音軽減

15時～19時のうち3時間程度において、到着機が千葉県上空を6,000ft未満で飛行しなくなりました。(右図B)

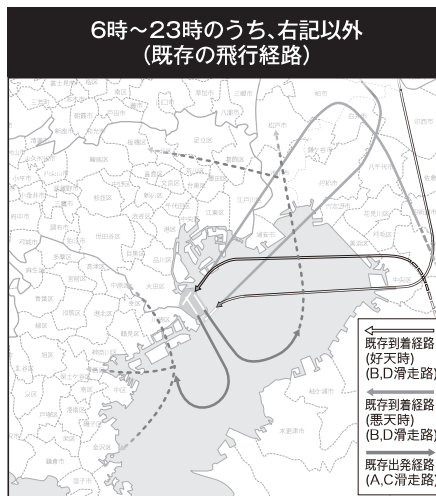
新飛行経路については、引き続き着実に運用を継続してまいります。



北風運用時の飛行経路



南風運用時の飛行経路



—— 6,000ft未満 - - - 6,000ft以上

新飛行経路の運用状況について

新飛行経路の運用状況につきましては、下記のとおりです。

		3月29日～4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
A	北風運用時 新飛行経路 (離陸)	運用日数 (日)	32	25	25	16	24	22	31
	運用機数 (機)	1,689	584	891	995	1,411	1,687	2,555	
B	南風運用時 新飛行経路 (着陸)	運用日数 (日)	17	20	21	20	23	10	4
	運用機数 (機)	818	713	981	1,377	1,849	538	266	

※限られた時間の運用であっても新飛行経路を運用した場合は、運用日数にカウントしています。

千葉県内の影響軽減の取組について、ご質問にお答えします



千葉県に集中している飛行経路を分散できませんか？

新飛行経路を運用開始し、飛行経路の分散を図っています。

改善
しています

一定の時間帯において、羽田空港を離着陸する航空機が新たな飛行経路にて運航することにより、飛行経路の分散と騒音軽減を図っています。経路の詳細や運航実績については、1ページをご確認ください。

今後も、管制技術の向上に伴う技術検討を継続して実施し、千葉県陸域の影響を軽減させる方策について検討してまいります。



新飛行経路の運用開始後、騒音は少なくなっているのですか？

南風運用到着経路下・北風運用出発経路下に設置している測定局の測定結果は下がっていますが、複合的な要因によるものと考えられます。

検証を
継続します

南風運用到着経路下・北風運用出発経路下に国土交通省が設置している騒音測定局における、令和2年4月から10月までの測定結果(時間帯補正等価騒音レベル:Lden エルデン)は、前年と比較して低下しています。この結果は、新飛行経路の運用開始や、新型コロナウイルス感染症の影響による航空機の減便等の複合的な要因によるものと考えられます。

新飛行経路運用開始による効果については、引き続き新飛行経路の運用を継続し、モニタリングと検証を実施してまいります。

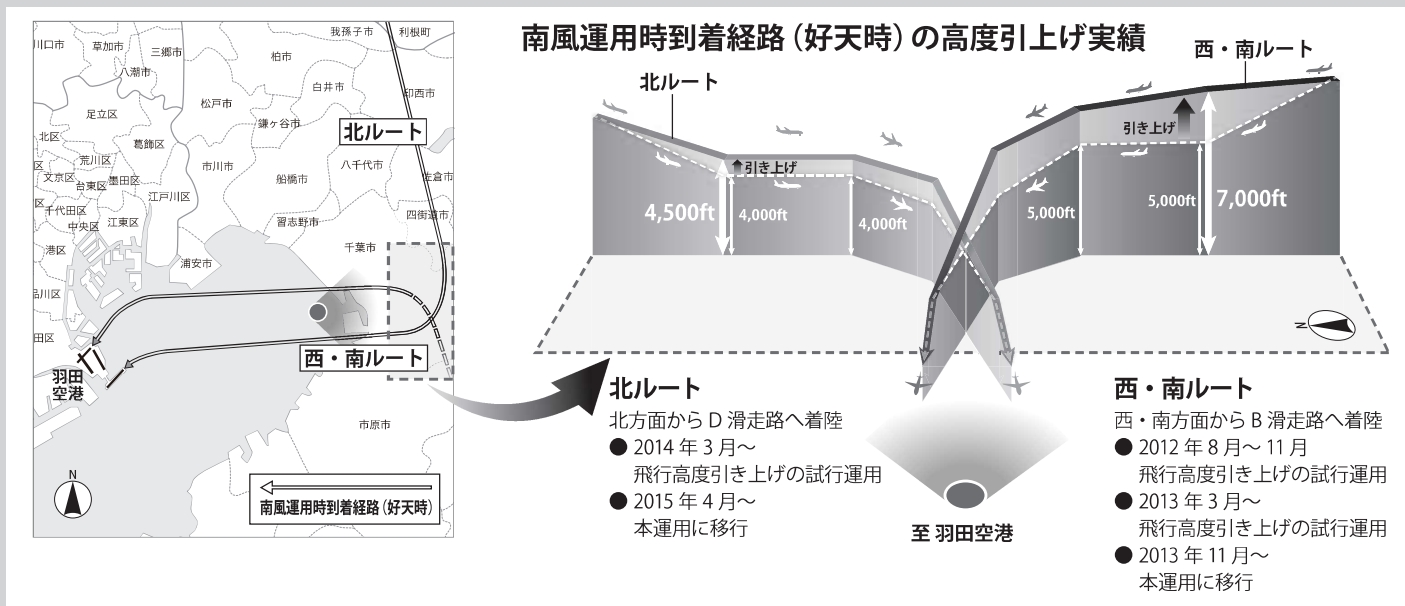


飛行経路の交差解消や、飛行高度の引き上げ、海上へのルート変更はできませんか？

管制技術の向上に伴う技術検討を継続します。

検討を
継続します

これまで、千葉県陸域の影響をできる限り軽減させるため、運用の工夫に努めてまいりました。2013年、2015年に南風運用时到着経路(好天時)の高度引き上げを実施しています。



今後も、管制技術の向上に伴う技術検討を継続して実施し、千葉県陸域の影響を軽減させる方策について検討してまいります。各飛行ルートにおける、降下角引き上げによる飛行高度の更なる引き上げにつきましては、新飛行経路の運用状況を踏まえつつ、想定される様々な課題の解決策について検討を継続してまいります。



北風運用時の到着経路を
できるだけ海の上にはできませんか？

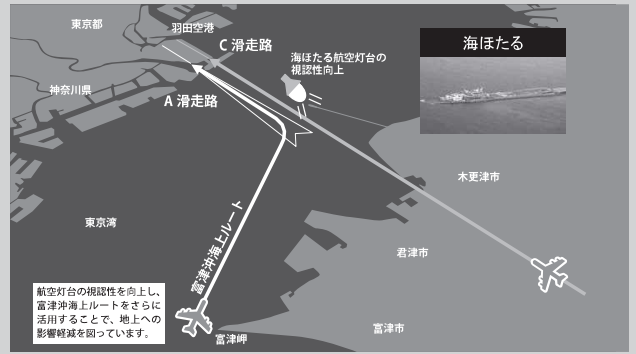
富津沖海上ルートを更に運用するための取り組みを
続けています。

設備改良
しました

北風運用の好天時（視界が良く、決められた地点から海ほたるの地標航空灯台が視認できる場合）に使用することができる富津沖海上ルート
の最大限の活用により、地上への影響軽減を図っています。2019年3月
28日より、海ほたるに設置している地標航空灯台の明るさを10倍にし、
航空灯火の視認性を高めました。

これまで富津沖海上ルートが運用出来なかった天候状況において、輝
度向上により運用出来たケースが報告されており、効果を発揮しています。

引き続き本ルートの最大限の活用により地上への影響軽減を図ってま
いります。



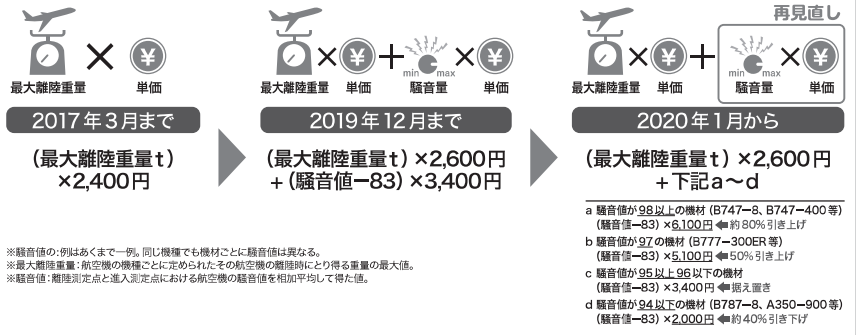
騒音の少ない飛行機を増やすことはできませんか？

航空会社による低騒音機の利用を促進しています。

改善
しています

航空機の騒音基準は年々厳しくなっており、最
新の航空機ほど厳しい基準が適用された低騒音
機となっています。羽田空港では、国際線の着
陸料を2017年4月より騒音の要素を組み合わ
せた料金体系へ見直しました。

また、2020年1月1日より、国際線の着陸料
体系の再見直しを行い、高騒音機材の単価をさ
らに引き上げ、低騒音機材の単価をさらに引き
下げました。今後、より一層の低騒音機材の利
用促進が図られます。



飛行機からの落下物対策をしっかりと実施して欲しいです。

落下物防止対策の追加や、徹底的な点検が行われています。

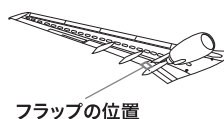
対策強化
しています

我が国で運航する全ての航空会社に対し、落
下物防止対策が義務付けられています。さらに、
航空機メーカー等と調整し、対策の追加を順次
行っています。また、落下物の未然防止のため、
航空会社による徹底的な点検が行われています。

羽田空港では、国の職員による抜き打ちの
機体チェックを実施しています。2020年度よ
りチェック要員を増やし、更なる点検強化に取
り組んでいます。

対策への追加例

ボーイング737型機のフラップの外板について、
過去の欠落事故を踏まえて、メーカーであるボー
イング社と原因究明・再発防止策の検討が行われ、
2019年10月より、航空会社に対し改良型フ
ラップへの交換が義務付けられています。



[改良型フラップ]



外板を接着からボルト等による取付に変更



市民相談会について

2020年3月・4月に千葉県内で開催を予定しておりました市民相談会につきましては、国内における新型コロナウイルス感染症をめぐる状況を踏まえ、感染拡大防止の観点から、開催を延期いたしました。ご来場を予定されていた皆様には大変御迷惑をおかけいたしました。

今後の市民相談会の開催につきましては、当面の間未定となっておりますが、状況を踏まえつつ検討してまいります。

引き続き、情報提供が行われます

本ニュースレターやホームページ、電話窓口などさまざまな方法で情報提供を行っていく予定です。羽田空港に関わる取り組みについて引き続き丁寧な情報提供を行ってまいります。



東京国際空港を離着陸する航空機の飛行実態及び騒音状況の情報を提供いたします。

羽田空港飛行コースホームページ

羽田空港飛行コースホームページ

検索

<https://www.ntrack.mlit.go.jp/NtrackTop/show>



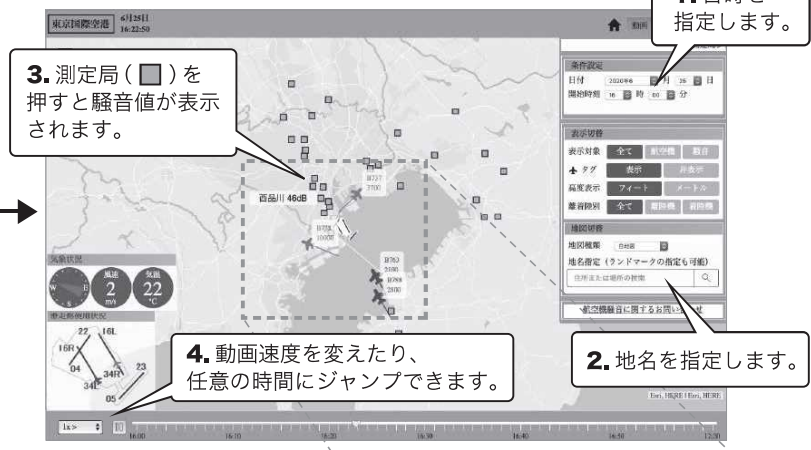
東京国際（羽田）空港に離着陸する航空機に関する飛行コース及び航空局が首都圏に設置している騒音測定局の測定値について、アクセス日の前日から1カ月前までの記録をインターネット上で情報提供しています。

■ トップページ



現在の運用状況を表示しています。

■ 羽田空港を離着陸した航空機の航跡動画

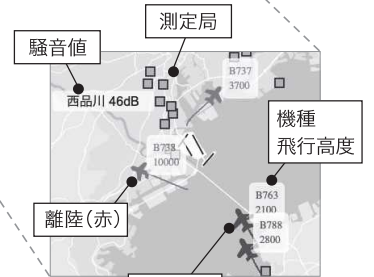
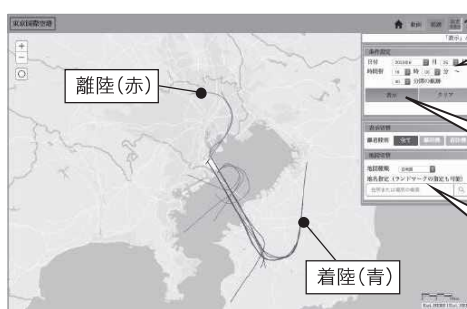


対象範囲

羽田空港における出発機及び到着機

- < 出発機 >
概ね10000フィート(3050m) 以下
- < 到着機 >
概ね6000フィート(1830m) 以下

■ 羽田空港を離着陸した航空機の航跡図



1. 日時を指定します。
2. 指定後、“表示”を押します。
3. 地名を指定します。

■ ホームページがリニューアルして、情報がさらに充実しました。

<https://www.mlit.go.jp/koku/haneda/>

羽田空港のこれから

検索

本号でお知らせした内容をはじめとして、上記のホームページにて羽田空港に関する最新情報を掲載していますので、ぜひご活用ください。ご意見ご要望もこちらのホームページからメールフォームで直接投稿できます。



■ 航空機騒音・落下物等に関するお問い合わせは

Tel 0570-001-596

受付時間：7:00～20:00 [土・日・祝含む]

お問い合わせ番号の一本化に伴い、2021年1月31日にて、0570-001-160の番号でのご案内は終了となります。